

森のハーバル  
ライフ2018  
秋 事業報告

人と人をつなぐ、  
高原生活がもつと好きになる

「森のハーバルライフ」って？

高原生活フェア  
「森のハーバルライフ」2018 秋

久万高原町に暮らす人々は昔から森、木、里、川の恵みを大切に上手に利用して、自然と仲良く暮らしていました。まさに和製口ハス生活！ところが、そんな久万高原町の人々の元気がない！過疎化、高齢化する住民の不安は、「久万高原町は時代から取り残されるのでは？」という漠然とした劣等感によるものだと考えた私たちは、久万高原町に暮らすことに誇りを持ってほしいと知恵を絞りました。

その和製口ハス生活を「森のハーバルライフ」と命名。特許庁に申請し、無事商標登録！独自のライフスタイルの提唱を主としたイベント集団へ成長すべく頑張っています。



11月4日秋晴れ 燃える紅葉の中2,500人来場

春と秋、久万高原町の暮らしぶりを紹介できるお店やイベントを行い、久万高原町に足を運んでその自然を満喫していただければ、移住定住の促進の助けになると、役場の「ふるさと創生課」の方たちとのタッグもお願いできることになり、きっかけとなった「全国ハーブサミット」以来、今回で4回目の開催。

メインは移住交流カフェと森のステージ。そして、会場を盛り上げたのは森のマルシェの個性的な出店者の皆さんでした。

＊移住交流カフェ「くまタインズ」・・・久万高原町を選んで住んでいる移住者「くまタインズ」の方たちが、一日限定でカフェをオープン。自家製トマトを使ったトマトカレーは100食限定で、大好評。何より、実際に農家として働く彼らの言葉に、臨場感が。また、会場内には、久万高原の秋の写真が展示され、移住相談コーナーも。

＊森のステージ・・・移住者に本音を聞くインタビュー「YOUは何しに久万高原へ？」では、農家、林業家、サラリー

森のハーバルライフ  
実行委員会  
委員長 梶川 嘉徳



マン公務員と移住した各職種の方に直撃インタビュー。また、上浮穴高校生のカホン演奏など、森にさわやかな音色が響きました。

夕暮れ時の冷気が迫る4時の閉幕まで、多くの方が紅葉の久万高原のハーバルライフを堪能していました。



森のステージ 上浮穴高校生のカホンとコカリナの合奏

「森のハーバルライフ」のこれからは？

春と秋の二回が今までのペースですが、今春は6月9日(日)に久万高原町の久万農業公園(アグリピア)で開催し、今回は植物にこだわってみました。久万高原の初夏の装いもお楽しみいただけたいのではないかと思います！

古民家  
シネマ上映会  
事業報告

二名津わが家亭の挑戦  
古民家を核に生き生きとした地域づくりを

NPO法人二名津わが家亭の設立

伊方町二名津は、人口の減少による過疎化、少子高齢化が顕著な地域です。空家や空き地も増え続けています。何とかしたいと思っていた時、今は廃業している築100年を越す造り酒屋の所有者の方から、「家を地域のために使ってほしい。」という申し出をいただきました。そこで、この古民家「村井邸」を地域のコミュニティスペースとして活用し、つながりを深め、イベント等を通して地域の活性化に寄与し古里を愛する心を強めていきたいと考えました。古民家がみんなの「わが家」になればと思います。そして、志を同じくする者が集まり、平成30年7月にNPO法人二名津わが家亭を設立しました。

わが家亭の活動 シネマ上映会



村井亭シネマ

わが家亭の活動の一つとして、趣のある古民家を会議やイベントに貸し出す事業

があります。広い和室や庭がある古民家での開催は大変好評です。

そして、これまでに行なったイベント事業は次のものがあります。名曲レコード鑑賞会。「なつかしの駄菓子屋」。雛飾りや銘酒呑み比べと郷土料理の宴「雛の酒蔵」。地元作家の「裂き織り展」や「日本画展」等です。さらに、昨年十一月には「シネマ上映会」も開催しました。かつて、二名津地域にも映画を上映する会社があったことから、その賑わいを今に蘇らせようと企画したものです。プロジェクトやスピーカー等の設備面で予算が不足する問題がありました。また、まちづくり活動アシスト事業の支援を受け、無事開催することができました。上映作品は「幸福の黄色いハンカチ」。当日は50人ほどの方が集まり、熱心に鑑賞しました。上映までは賑やかに話をしていた方々が、映画が始まると静かになり、終わるとともに「懐かしかった。」「またやってや。」などという声が聞かれました。上映後のアンケートにも大変好評でした。経費の問題も



シネマ上映会

ありますが、今後定期的な上映会を行うように計画しています。音響や映像設備を充実したことで、講演会等にも活用でき、需要が広がってきています。

わが家亭の現状とこれから

NPO法人わが家亭は、設立から1年ほどしか経っていないため、組織がやっと整いつつあるのが現状です。しかし、地域の方々の理解や協力、諸団体の支援等、心強い応援団ができました。また、会員相互の理解と連帯意識が深まり、賛同する方も増えてきています。わが家亭の活動が、前に進んでいるように思います。

今後の事業をより充実したものにするために次のことに取り組みうとを考えています。①イベント活動の改善と施設面の充実。②定期的、継続的な事業の推進。映画上映会や孤食のお年寄りなどのため「わが家亭食堂&カフェ」の定期的な開設。③「わが家亭と二名津」というフィールドの拡大。④持続可能な事業という視点からの運営。

地域の声に応え、少しでも町の活性化に役立ちたい。これからもNPO法人二名津わが家亭会員の挑戦は続きます。

NPO法人  
二名津わが家亭  
理事長 増田 克仁

